

北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会

委員一覧 (20名)

委員長	中曾根 弘文 (自民)	猪口 邦子 (自民)	柳田 稔 (民主)
理事	塚田 一郎 (自民)	衛藤 晟一 (自民)	平木 大作 (公明)
理事	三原じゅん子 (自民)	北村 経夫 (自民)	藤巻 健史 (維新)
理事	白 眞勲 (民主)	二之湯 武史 (自民)	井上 哲士 (共産)
理事	矢倉 克夫 (公明)	有田 芳生 (民主)	井上 義行 (元気)
	赤池 誠章 (自民)	長浜 博行 (民主)	中山 恭子 (次代)
	石井 浩郎 (自民)	柳澤 光美 (民主)	(27. 1. 26 現在)

(1) 審議概観

第189回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

安倍内閣総理大臣の施政方針演説では、拉致問題について、北朝鮮は、迅速な調査を行い、一刻も早く、全ての結果を正直に通報すべきであるとし、今後とも、「対話と圧力」、「行動対行動」の原則を貫き、拉致問題の解決に全力を尽くすことが表明された。

4月22日、北朝鮮をめぐる最近の状況について岸田外務大臣から、拉致問題をめぐる現状について山谷国務大臣からそれぞれ説明を聞いた。

4月27日、北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立について、参考人とし

て、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表飯塚繁雄君、北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会会長・東京基督教大学教授西岡力君、特定失踪者問題調査会代表・拓殖大学海外事情研究所教授荒木和博君、関西学院大学国際学部教授平岩俊司君及び立命館大学客員教授・共同通信客員論説委員平井久志君を招致し、意見を聴いた後、質疑を行った。

8月31日、北朝鮮の韓国への砲撃事案及び南北の共同報道文合意、北朝鮮の特別調査委員会による調査、日朝外相会談、拉致問題解決に向けた国際的連携、北朝鮮の核・ミサイル開発、朝鮮半島有事における拉致被害者等の救出等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成27年1月26日(月) (第1回)

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成27年4月22日(水) (第2回)

○北朝鮮をめぐる最近の状況に関する件について岸田外務大臣から説明を聞き、拉致問題をめぐる現状に関する件について山谷国務大臣から説明を聞いた。

○平成27年4月27日(月) (第3回)

○参考人の出席を求めることを決定した。

○北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に関する件について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表
飯塚繁雄君

北朝鮮に拉致された日本人を救出するため

の全国協議会会長・東京基督教大学教授
西岡力君
特定失踪者問題調査会代表・拓殖大学海外
事情研究所教授 荒木和博君
関西学院大学国際学部教授 平岩俊司君
立命館大学客員教授・共同通信客員論説委
員 平井久志君

〔質疑者〕

北村経夫君（自民）、白眞勲君（民主）、
有田芳生君（民主）、矢倉克夫君（公明）、
藤巻健史君（維新）、井上哲士君（共産）、
井上義行君（元気）、和田政宗君（次代）

○平成27年8月31日（月）（第4回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 北朝鮮の韓国への砲撃事案及び南北の共同報道文合意に関する件、北朝鮮の特別調査委員会による調査に関する件、日朝外相会談に関する件、拉致問題解決に向けた国際的連携に関する件、北朝鮮の核・ミサイル開発に関する件、朝鮮半島有事における拉致被害者等の救出に関する件等について岸田外務大臣、山谷国務大臣、城内外務副大臣、石川防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

三原じゅん子君（自民）、有田芳生君（民主）、白眞勲君（民主）、平木大作君（公明）、藤巻健史君（維新）、井上哲士君（共産）、井上義行君（元気）、中山恭子君（次代）

○平成27年9月25日（金）（第5回）

- 北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。